

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公開番号】特開 2014-47048 (P2014-47048A)
 【公開日】平成 26 年 3 月 17 日 (2014.3.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-014
 【出願番号】特願 2012-192427 (P2012-192427)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 3/00 (2006.01)

B 6 5 H 7/04 (2006.01)

B 6 5 H 11/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 H 3/00 3 1 0 Q

B 6 5 H 7/04

B 6 5 H 11/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 4 月 15 日 (2014.4.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 9 】

本発明は、印刷装置の手差しトレイ上に用紙をセットするタイミングの調整を行うことが可能な用紙給紙装置を提供することを目的とする。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 0 】

本発明は、印刷装置に給紙される用紙を受付ける手差しトレイを備えた印刷装置に装着可能であり、前記用紙を前記手差しトレイへ前記印刷装置からの電気的な同期なしに供給可能な用紙給紙装置であって、前記手差しトレイが開いた状態の前記印刷装置に前記用紙給紙装置を固定するための固定部と、前記用紙を蓄積可能な用紙蓄積部と、前記用紙蓄積部に蓄積される用紙を、搬送ベルトを用いて 1 枚ずつ前記手差しトレイ上に搬送する搬送部と、前記搬送部により前記手差しトレイ上に搬送された前記用紙の有無を検知するセンサ部とを備え、前記搬送部は、前記センサ部により前記手差しトレイ上に前記用紙があると検知されている状態では、前記手差しトレイ上へ次の前記用紙の搬送を行わず、前記センサ部により前記手差しトレイ上に前記用紙が無いと検知されている状態では、次の前記用紙の搬送を行うことを特徴とする。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

印刷装置に給紙される用紙を受付ける手差しトレイを備えた印刷装置に装着可能であり、前記用紙を前記手差しトレイへ前記印刷装置からの電氣的な同期なしに供給が可能な用紙給紙装置であって、

前記手差しトレイが開いた状態の前記印刷装置に前記用紙給紙装置を固定するための固定部と、

前記用紙を蓄積可能な用紙蓄積部と、

前記用紙蓄積部に蓄積される用紙を、搬送ベルトを用いて１枚ずつ前記手差しトレイ上に搬送する搬送部と、

前記搬送部により前記手差しトレイ上に搬送された前記用紙の有無を検知するセンサ部とを備え、

前記搬送部は、前記センサ部により前記手差しトレイ上に前記用紙が有ると検知されている状態では、前記手差しトレイ上へ次の前記用紙の搬送を行わず、前記センサ部により前記手差しトレイ上に前記用紙が無いと検知されている状態では、次の前記用紙の搬送を行うことを特徴とする用紙給紙装置。

【請求項２】

前記搬送部は、前記センサ部により前記手差しトレイ上に前記用紙が無いと検知されてから設定された所定時間経過後に、次の前記用紙の搬送を行うことを特徴とする請求項１に記載の用紙給紙装置。

【請求項３】

前記所定時間は、複数設定可能であり、設定された複数の所定時間から任意の所定時間を選択する選択部を備えることを特徴とする請求項２に記載の用紙給紙装置。

【請求項４】

前記用紙蓄積部は、蓄積されている前記用紙が前記搬送ベルトに接触する方向に対して力を加える押さえ板を備えることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の用紙給紙装置。

【請求項５】

前記用紙は、ハガキであることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の用紙給紙装置。